



2021年1月12日

各位

会社名 東宝株式会社
代表者名 代表取締役社長 島谷能成
(コード番号 9602 東証第1部、福岡)
問合せ先 取締役副社長 太古伸幸
(TEL. 03-3591-1214)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年10月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	165,000	14,000	15,500	9,000	50.50
今回修正予想 (B)	186,000	19,000	21,000	14,000	78.63
増減額 (B - A)	21,000	5,000	5,500	5,000	
増減率 (%)	12.7	35.7	35.5	55.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	262,766	52,857	55,068	36,609	203.77

2. 修正の理由

主力の映画事業において「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」が記録的なヒットとなり第3四半期累計期間の業績に寄与したことに加え、なお興行成績を伸ばし続けていること等から、営業収入、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表の予想を大幅に上回る見込みとなりました。

以上により、2021年2月期の連結業績予想を修正しております。

なお、2021年1月7日に東京・神奈川・千葉・埼玉の1都3県を対象に、緊急事態宣言が発出され、映画館や劇場に対して営業時間の短縮等の協力依頼がありました。前回の緊急事態宣言 (2020年4月16日発出) では、全国の映画館や劇場で営業を休止いたしました。今回は一部の営業制限に留まるため、これによる当社グループへの影響は限定的と捉えております。しかしながら、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、当社グループ事業へのさまざまな影響は来期についても一定程度残るものと仮定しております。

当社グループとしては、全ての事業において、お客様およびスタッフ・従業員の健康と安全を最優先するという大前提のもと、政府および地方自治体の要請等を踏まえながら、通常営業への回復を模索してまいります。

(注) 上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであって様々な不確定要素が内在しており、その実現を確約するものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性が有りますので、ご承知おきください。

以上